

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡 / 湯之奥・中山金山

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



2013年は180年に一度の超開運年!?

～新年のテレビ特番で金山博物館が紹介されました～

「2013年は、9年周期で訪れる全ての方角から強い財運を集めるという五黄土星の年で、加えて10年周期で訪れる水の力によって財運を生むという癸（みずのと）の年、更に12年周期で財運や幸運力が極限に高まるという巳（へび）年。だから、180年に一度の財運大好転のチャンス。」なんだそうです。それを受けて、地元YBSテレビの新年特番ではゴールドや黄金をテーマにした番組がオンエアされました。金と言えば金山博物館！ということで当館も取り上げられ、1月2日水曜日、新年開館初日にオンエアされました。「テレビ見ました」とおいでくださるお客様も多く、大変有り難いことです。

金価格は右肩上がりですが、この運氣アップの絶好の機会の年にあやかって、博物館の知名度もさらに上がって、大勢のお客様がおいでくださるよう祈念して2013年のスタートを切りました。

峡南は「教育旅行」の宝庫

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館長 谷口 一 夫

学校教育の一環として行われている「修学旅行」の形が近年変化していると言われます。過去、高校の修学旅行といえば、古都京都・奈良が定番であり、西日本の学校では、東京などが定番でしたが、近年では東西問わず北海道・沖縄・千葉（ディズニーランド）など、生徒の人気も高く、盛り上がるようですが、本来の学校教育（教育旅行）としての「修学旅行」の見直しもあり、これまでメジャーだった観光地から一転、地方へ「体験」を含めた「教育旅行」への流れが台頭し、そのウエイトが年々高まる傾向にあると教育旅行を推進している公益財団法人の関係者は言います。

事実、大手旅行業者にとっても、これまで扱ってきた「修学旅行」は重要な分野であり、各社力を入れていますが、それと並行して「教育旅行」分野にも注目し専門の部門を設け、力を入れている現状にあります。

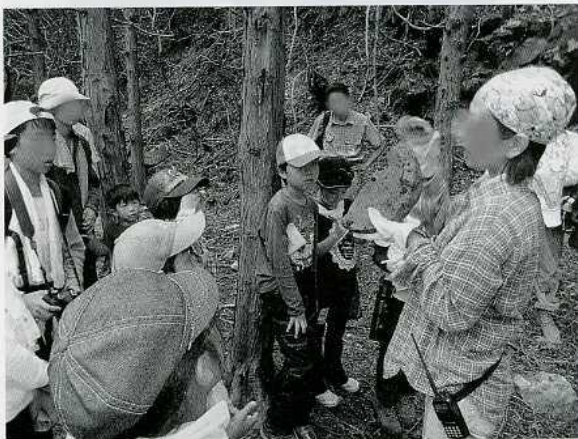
峡南地域では、県、峡南5町、並びに地域の関係機関、関係者によって、5年後には開通予定の中部横断自動車道によって、地域が疲弊しないための対策として、交流人口を増やす地域活性化へ向けた方策が検討され、これまでに4つのプロジェクトを立ち上げていますが、その一つのプロジェクトに「富士川流域観光公社

(仮称)」があり、その中身の検討を急いでいます。その内容によって、どう組み立てていくかが課題としてあります。

9月27～28日には第1回、11月29～30日には第2回のモニターツアーを実施し、都内を中心とした有名な大手（1種・2種）旅行業各社の教育旅行担当者や旅行業界紙（誌）各社、ルポライターが、峡南における「教育旅行」実現の可能性を求め来県、教育資源を体感していただき結論として、今まで知らなかった峡南の魅力を「新発見」、今後の「教育旅行」組み立てに必要な情報収集をしていただきました。

また12月12日には「教育旅行」で成功を収めている群馬県水上市へ、活性化へ向け取り組んでいる委員を中心に視察に出向き、「教育」プログラムの体験なども行い、「教育旅行」受け入れのノウハウなども学んできましたが、峡南に於いても十分対応できる内容でした。成功の裏には人材育成の必要性がありますが、これは地域の人材活用で対応できると考えられます。

以上を通じ、峡南地域には文化歴史遺産・自然遺産などが豊かに存在しており、こうした「教育旅行」のプロ集団によって、新たな地域活性化の動きが始まると思われれます。



教育プログラムを推進している湯之奥金山博物館。
左は「こども金山探険隊」における臨地体験、右は挽き臼を使った体験学習の様様。

活 動 報 告

有料入館者29万人目達成！

9月16日(日)

『博物館だより62号』で、28万人目の記念入館のお客様・立川様をご紹介させていただいたうえで、次号では29万人目のお客様について予告しておりましたが、その予告通り、去る9月16日(日)、まさに秋の3連休の真ん中でしたが、この日の夕方、有料入館者29万人目のお客様をお迎えすることが出来ました。

閉館時間直前になって、人が切れることの無かったこの日にラッキー入館者となったのは、県内・南アルプス市にお住まいの渡辺さんご夫妻。

お二人は、伊豆の土肥金山で砂金採り体験をしたことがあり、その楽しさをもう一度！ということで、当館へ「砂金採り体験」をしにご来館くださったそうです。

29万人目に特に奥様が大変喜んでくださっていたご様子。館長より記念花束を贈呈され、その後、館長の案内で館内見学の後、砂金採り体験をされました。時間が少なくなってしまうため、体験はフルタイムできなかった渡辺さんご夫婦。「近くにこんな施設があるなんて知らず、

さらに初めて来たら、こんな偶然に出会うとは驚きです。また、砂金採りに遊びに来ます。」と館を後にされました。渡辺さんには、後日、当館ならではの金箔記念入館証をお送りさせていただきました。

2013年も多くのお客様においでいただけるよう、そして次の30万人目のお客様を早くお迎えできるように、スタッフ一同頑張っていきたいと、改めて気持ちを引き締める次第です。



博物館エントランスで「宇宙かぼちゃ」期間展示しました 10月20日(月)

10月20日から11月11日の約3週間、博物館エントランスで、「松戸白・宇宙かぼちゃ&タネ」を展示いたしました。

これは、一昨年、千葉県松戸市出身の宇宙飛行士・山崎直子さんが、スペースシャトルで宇宙へ持っていった「230粒」の種に由来するものですが、山崎さんの出身地の松戸市役所・市民環境本部企画管理室並びに、松戸市に居住する知人の好意で、サイン入りの山崎さんの写真と合わせて展示が可能となりました。

山崎直子宇宙飛行士が宇宙に持参した「かぼちゃ」の種230粒で栽培された(松戸白)「宇宙かぼちゃ」(第一世代)から取り出された「タネ」で、20粒戴いた中の2粒を公開致しました。松戸市では「松戸白」「宇宙かぼちゃ」と呼んでいます。一般的には「宇宙かぼちゃ」で通じます。

来春「4～5月」には、このタネを蒔き、第

二世代のかぼちゃを育てます。

12月の冬至までは、この形で展示いたしました。冬至には「かぼちゃ」のタネを取り、「かぼちゃ」と「馬鈴薯」を一緒に煮て、皆様と一緒に美味しくいただきました。

エントランスに展示された「松戸白・宇宙かぼちゃ」は来館者の目にもとまり、「夢がありますね」との感想を頂きました。



東京農大オープンカレッジ出張講座

11月10日(土)、11日(日)

東京農業大学のエクステンションセンターで実施している参加協働型講座が毎年この時期に開催されています。地域で活動する方々と共に地域を巡り、魅力や課題を実感し考え行動に移すことで、楽しみながら地域づくりに貢献することをモットーに、今年度も「富士金山の里の地域づくりー「みち」から考える朝霧高原の地域づくりPART2ーⅢー」という講義が開かれました。小松学芸員が、2日にわたり、出張講義と麓金山の現場案内に出向きました。

富士(麓)金山のある静岡県富士宮市麓地区は、東海自然歩道が通り、朝霧高原一帯の自然や歴史、文化にふれあうことができる富士山麓でも有数の富岳の撮影スポットです。この講義は、ここ数年にわたって開講されていますが、今年も多くの方が受講され、豊かな自然に囲まれた麓の地域をどのように活かし活用していくか、金山遺跡巡るフィールドワークを通じて学習する機会となり、今後の展開に期待するところです。

身延町婚活プロジェクトを金山博物館で開催

11月18日(日)

24年度、身延町では、若手職員のプロジェクトチームによる「身延町定住対策婚活支援事業」として、婚活イベントをプロデュースして参りました。イベントは3回にわたって開催されており、バーベキューや登山など、各回によって内容は異なりましたが、その婚活イベント第3弾【TREASURE IN MINOBU】が、身延山と金山博物館を舞台に開催されました。

参加者は男性女性ともに12人ずつ、合計24人。午前中に身延山の宿坊「覚林房」にてレクリエーションをし、精進料理を食べてきた一行は、さっそく2人組のペアで博物館の観覧。ジオラマ映像内の「親方だって、いつまでもひとりもんじゃあ困らあ！」の台詞にちょっと苦笑いしつつ、気分もほぐれたところで砂金採り体験に移りました。

スタッフ特製“ハート型砂金”やレプリカ古銭など、この日のために用意された仕掛けが満載の、いわば“婚活プロジェクト特別ルール砂金採り体験”で、まず、2人1組で1つのお皿を2人で交替しながらパンニングし、自分が採った砂金は相手にプレゼントし合うというもの。協力した結果が砂金粒数に反映されるというわけです。

スタート10分足らずで1人の男性がハートの砂金をゲット！喜ぶ女性陣！躍りになってパンニングする周囲の男性陣！刻一刻と過ぎていく

体験時間。結局、他のペアからハート砂金が出てきませんでした。盛り上がった砂金採り体験を楽しんだ後は、フリータイムとなり、足湯に入ったり、ロビーで話をしたりと各々で交流をしていました。

この身延町婚活プロジェクト(通称：MKP)は、『婚活de八ヶ岳推進委員会』の方々にご協力いただき、今年度からスタートしたものです。これまでのカップル成立実績を尋ねたところ、「この人数の場合、1組成立すれば御の字！最大でも5組ぐらいですし、もちろん成立しない場合もあります。」ということで、身延はというと、第1弾で3組、第2弾で4組、第3弾もめでたく2組成立しましたからかなりの高確率です。

次回もこうした機会に是非参加していただき、合わせて金山博物館にも遊びに来てくださいね。



秋の遺跡見学会「茅小屋金山&川尻金山見学会」

10月21日(日)

稼働時期の異なる二つの金山を一日で見学する“欲張りコース”の見学会を、素晴らしい秋晴れに恵まれたこの日に開催いたしました。午前中は湯之奥・茅小屋金山遺跡。参加者の皆さんは見学前に、台風被害を大きく受けた茅小屋金山の概要を聞いていましたが、乗用車くらいの大きさの石がごろごろする入ノ沢の現場の様子に、本当にすごい被害だったことを改めて実感しながら、歩みを進めていきました。茅小屋入口から遺跡まではおよそ40分～1時間。大きく損壊した宮屋敷テラスの様子、茅小屋中心テラスを見ながら、今後、こうした遺跡遺構をどのように保全していけるのかということをそれぞれに考えてみてほしいということを伝えながら、午前中の見学会は終了、博物館へ戻りました。

博物館で昼食を取ってから、国道300号線をバスで約40分ほど走って川尻金山へ。川尻は、茅小屋と違って歩く距離はそれほどないため、すぐに現地に到着できます。「浩庵キャンプ場」を経営されている赤池宏文さんと合流した後、説明をいただきながらの見学となりました。実は、赤池さんのお父様は川尻金山最後の所長を務められており、赤池さんご自身は幼少期の記憶の中で話せることがあれば、と博物館からの依頼にご快諾くださりご同行いただくことが出来ました。



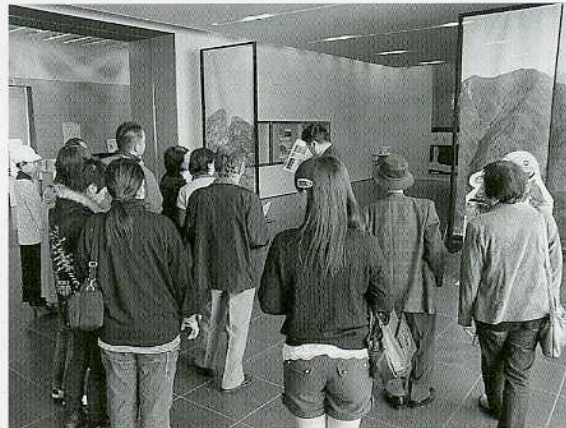
さて、川尻金山メインテラスや坑道に向かう途中の現場で、最初に目にしたのは6番坑道と言われる大きな穴で、入口の高さは2m近く、奥行きも7m程あります。古い金山跡と違って、坑道の大きさも中で作業できる広いスペースが確保されていました。そこから10分ほど歩くと川尻金山の中心テラスに到着します。撮影用ライトで内部を照らし、参加者の皆さんは坑道の中を興味深そうに見学しました。5番坑道は二股に分かれた大きな坑道で、この坑道は、参加者全員が入ってもまだスペースがあるほど大きなものです。坑道内部を確認後、石積み綺麗に残っているテラスへも移動し、試掘坑などの新発見も出来ました。

時間が迫ってきたところで駐車場まで戻り赤池さんにお礼を述べ、川尻を後にしました。参加者からは、1日大変楽しかったという感想をいただき、1年ぶりの見学会は無事に終えることが出来ました。次年度の見学会も楽しみにしていただいておりますが、またいろいろ選定し実施したいと思います。

見学会第2弾「インカ帝国展&黄金の国々展見学バスツアー」 11月4日(日)

24年度の見学会は、「一度で2度楽しめる」がテーマになりました。前回の茅小屋&川尻金山遺跡見学会同様、晴れ渡った秋空の中、一日で二つの展示会を見ることが出来るバスツアーを開催いたしました。一つは考古博物館で話題となった「インカ帝国展」、そしてもう一つは県立博物館の「黄金の国々展」でした。見学会当日、午前9時30分過ぎには考古博物館に到着したのですが、すでに入口で列が出来、もしかしたら入場制限をかけないとならないかもしれない、と先方のスタッフが心配になるほどの盛況で、展示会の人気の高さを目の当たりにしました。

そんな多忙の中、同館の保坂学芸課長さんにご挨拶をいただき、参加者の皆は期待に心躍らせながら入館。今回は、いずれの展示会も、出発時間まで自由観覧とし、必要な人は音声ガイドを借りるなどして、それぞれの自由な見方で



時間を使っていただきました。館内は後ろに戻ることも出来ない程で、特に展示の目玉ともいえる4体のミイラや3Dシアターなどは、それこそ人だかりでした。それでも、約2時間ほどの観覧時間を十分に、それぞれに楽しんでいただけようでした。

昼を挟んで午後は山梨県立博物館へ。この日は記念講演もあり、その講演会聴講希望と、展示会観覧希望の好きな方で時間を過ごす選択方式にし、約2時間半をそれぞれに楽しんでいただきました。

歩き疲れもあったかと思いますが、参加された皆様には大変喜んでいただき、充実した一日だったという言葉をいただきました。また、見学会開催にあたって、ご協力いただきました2施設のスタッフの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。

菊の花がお客様をお出迎えくださいました

11月下旬～12月中

朝夕の寒さが厳しくなってきた12月、綺麗に咲く菊の花が、今年も博物館玄関前に飾られました。これは常葉在住の依田良平さんのご好意によるもので、手間隙かけて咲かせた見事な菊の花を毎年展示して下さっています。花がだんだん少なくなり、寂しくなってくる季節に、美しく鮮やかな黄色の花が来館者の目と心を楽しませてくれました。



今年も開催、シルバーアクセサリー教室

12月15日(土)

今年で3年目の純銀地金を使ってシルバーアクセサリーを作成する人気体験教室。講師は、地元峡南高校の生徒と先生方です。

実は、今回はいろいろと変更点がありました。というのは、当初、16日に予定していた体験教室だったのですが、その日は衆議員選挙の投票日と重なり、当館は選挙会場にもなっているため、選挙日になると体験教室の会場である多目的ホールが使えなくなってしまいます。そのため、開催日の変更や、それに伴い指導に来られなくなってしまう学生の代役で来てくれた学生もいたのです。そんな中でしたが、参加申込みされた方の中には一人の欠席者もおらず、無事に開催することが出来ました。

3回目になる体験教室。何度か参加しているため要領をよく知っている人もいましたが、何度やっても一発でうまくいかない作業もありま



した。溶かして伸ばす、まではいいのですが、デザインを伸ばす時に絵柄を地金に転写する作業が難しいのです。紙の厚みと金属の厚みが良い感じのところではローラーに入れる必要があります、きついと延びすぎてデザインがゆがむし、圧が弱いと、それはそれでデザインが写らない、というシビアな作業なのです。

「何度やっても難しい…」というのが率直な感想ですが、それ故、うまく出来上がると余計に嬉しいもの。何度もやり直しが必要になった方も何人かいましたが、それはそれで楽しんでいた様子。もちろん、一発で出来上がってくればこちらとしても嬉しいのですが、参加者はもちろん、指導する側も楽しんでいた様子で、指導がまったく初めての学生もいましたが、各自頑張ってくれて、体験者の皆さんもまた楽しんでくれました。

お正月特番「おめでとう山梨2013」の撮影がありました 12月21日(金)

新年1月2日(水) 夕方4:00から放送されたYBS山梨放送お正月特別テレビ番組「おめでとう山梨2013 開運トラベラー～プレゼント大放送の黄金ツーリズム～」の収録が、身延町内の施設で行われ、金山博物館にも訪れていただきました。

番組タイトルどおり、開運を目指してはるばる身延の地まで来てくれたのは、タレントの渡辺正行さん、手相芸人の島田秀平さん、「秘密

の県民SHOW」に東はるみ役で出演中の女優、黛英里佳さん。そしてYBSの海野紀恵アナウンサー。撮影はこの日、まさに気温の低い真冬の早朝から始まりました。寒かろうがなんだろうが、さすが芸人さん達。撮影の様子を見ただけでも楽しかったので、出来映えはさぞ面白い番組になるのだろうと期待の中で、芸人さん達のハイテンションぶりに驚かされながらどんどん撮影が進みました。

館からお知らせ

金山博物館恒例の親子映画観賞会が12月8日(土)に開催され、「トイ・ストーリー」を上映いたしました。

続いて1月19日(土)には「それいけ!アンパンマン~命の星のドーリィ」と「ドラゴンボール~摩訶不思議大冒険」を二本立てで上映いたしました。次回も楽しい作品を上映いたしますので、お越しになってください。

★親子映画観賞会：平成25年3月23日(土) 午後7時~

場所：湯之奥金山博物館 2階映像シアター

作品：「ONE PIECE ~エピソード オブ アラバスタ 砂漠の王女と海賊たち」

定員：85名 (要：事前予約)

※場内は暖房がついておりますが、3月とはいえ、足元は冷えますので、ひざ掛けなどをお持ちください。

1月から4月までの開館時間：午前9時~午後5時迄

(受付は午後4時30分迄)

休館日：毎週水曜日 (3月20日は春分の日にあたるため水曜日開館、翌21日は休館です。)

博物館日誌 (平成24年9月~平成25年1月)

1月	12月	11月	10月	9月
21日(金) 親子映画観賞会「トイ・ストーリー」	28日(金) YBS番組打合せ	2日(金) NHK甲府取材撮影、文教大附属中学校遠足	1日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」資料協力、文教大附属中学校遠足	16日(日) 休館日
22日(土) YBS番組打合せ	29日(土) 山梨県立博物館出張砂金採り	3日(土) 日秘商工会議所幹事長・清水様ご夫妻来館	2日(日) 山梨県立博物館「黄金の国々展」資料協力、文教大附属中学校遠足	17日(日) 休館日
23日(日) YBS番組打合せ	30日(日) 山梨県立博物館出張砂金採り	4日(日) インカ帝国展&黄金の国々展見学バスツアー	3日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	18日(月) 休館日
24日(月) YBS番組打合せ	31日(月) 山梨県立博物館出張砂金採り	5日(月) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	4日(火) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	19日(火) 休館日
25日(火) YBS番組打合せ	休館日	6日(火) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	5日(水) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	20日(水) 休館日
26日(水) YBS番組打合せ	休館日	7日(水) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	6日(木) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	21日(木) 休館日
27日(木) YBS番組打合せ	休館日	8日(木) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	7日(金) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	22日(金) 休館日
28日(金) YBS番組打合せ	休館日	9日(金) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	8日(土) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	23日(土) 休館日
29日(土) YBS番組打合せ	休館日	10日(土) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	9日(日) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	24日(日) 休館日
30日(日) YBS番組打合せ	休館日	11日(日) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	10日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	25日(月) 休館日
31日(月) YBS番組打合せ	休館日	12日(月) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	11日(火) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	26日(火) 休館日
休館日	休館日	13日(火) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	12日(水) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	27日(水) 休館日
休館日	休館日	14日(水) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	13日(木) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	28日(木) 休館日
休館日	休館日	15日(木) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	14日(金) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	29日(金) 休館日
休館日	休館日	16日(金) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	15日(土) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	30日(土) 休館日
休館日	休館日	17日(土) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	16日(日) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	31日(日) 休館日
休館日	休館日	18日(日) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	17日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	19日(月) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	18日(火) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	20日(火) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	19日(水) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	21日(水) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	20日(木) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	22日(木) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	21日(金) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	23日(金) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	22日(土) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	24日(土) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	23日(日) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	25日(日) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	24日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	26日(月) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	25日(火) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	27日(火) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	26日(水) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	28日(水) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	27日(木) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	29日(木) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	28日(金) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	30日(金) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	29日(土) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	31日(土) 東京農大オーブンカレッジ出張講義	30日(日) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日
休館日	休館日	休館日	31日(月) 山梨県立博物館「黄金の国々展」展オープニングセレモニー出席	休館日

編集後記

今年の正月はこんな話題を耳にしませんか？「財運や幸運力が極限に高まるという巳年。で、いろんなラッキーが重なって180年に一度の財運大好転のチャンス！」…なんだそうです。ならば、当館は金山博物館ですから、皆様に

はこんな呼びかけをさせていただきます。「この運氣アップの絶好の機会に、“金運王”になるべく、是非、今年も金山博物館にお出かけください。思わぬ“金運”がこぼれ落ちてくるかも!？」金価格は相変わらずお高いですが、塵も積もれば山となるとはよくいったものですから。

博物館だより 第63号 平成25年1月30日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 電話 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003
 博物館HPアドレス http://www.town.minobu.lg.jp/local_minobu/kinzan/index.html 博物館Eメールアドレス yunoking@town.minobu.lg.jp